



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 千趣会

コード番号 8165 URL <http://www.senshukai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田邊 道夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長

(氏名) 内藤 剛志

TEL 06-6881-3220

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	34,062	7.2	△741	—	△216	—	△178	—
23年12月期第1四半期	31,776	△1.2	714	35.0	881	△17.1	675	△37.3

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 1,142百万円 (△5.2%) 23年12月期第1四半期 1,204百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	△4.12	—
23年12月期第1四半期	15.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	93,634	42,283	45.2	976.32
23年12月期	90,441	41,444	45.8	956.94

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 42,283百万円 23年12月期 41,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,900	6.3	1,700	△29.1	1,800	△31.6	1,500	△30.8	34.63
通期	148,000	7.8	4,000	28.7	4,000	23.7	3,000	89.5	69.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期1Q	47,630,393 株	23年12月期	47,630,393 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期1Q	4,321,172 株	23年12月期	4,321,035 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期1Q	43,309,318 株	23年12月期1Q	43,309,633 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年3月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や円高から円安への修正などもあり改善が期待されておりましたが、原油価格の高騰など先行き不安が強く足踏み状態にあります。

小売業界におきましては、復興需要による消費や高額品の消費回復など全般的に回復基調に見えておりますが、小売業界全体としては未だ不透明な状況にあります。

このような経営環境のなか、当社グループは、平成25年度を最終年度とする「中期経営計画」の2年目として目標達成に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、340億62百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

利益面に関しましては、通信販売事業における仕入原価率の上昇と販売費及び一般管理費の全般的な増加により、営業損失は7億41百万円（前年同期は7億14百万円の営業利益）となりました。

経常損失は複合金融商品評価益及び為替差益等により2億16百万円（前年同期は8億81百万円の経常利益）となり、また四半期純損失は、1億78百万円（前年同期は6億75百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の概況

（通信販売事業）

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、1月、2月度は気温低下による秋冬物の売上増、3月度は前年の東日本大震災による落ち込みの反動や中旬から気温が上昇し出遅れていた春物の売上が伸び、3ヶ月とも前年同期を上回り、結果309億52百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

売上高は増加いたしました。利益面に関しましては、バーゲン売上及び処分売上の増加に伴う原価率の上昇とテレビCMなどのプロモーション費用や新カタログ創刊によるカタログ費用等販売費の増加、また前年実施のシステム関連投資による減価償却費の増加等により、営業損失は7億51百万円（前年同期は8億13百万円の営業利益）となりました。

（1）カタログ事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は287億95百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

（2）頒布会事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は21億56百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

（ブライダル事業）

ハウスウェディングを中心としたブライダル事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年の東日本大震災による反動と「カノビアーノ福岡」の新規出店により19億64百万円（前年同期比40.4%増）となりました。また営業損失は、71百万円（前年同期は2億3百万円の営業損失）となりました。

（法人事業）

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年からの大口受託先の契約終了による減少により、7億75百万円（前年同期比39.6%減）となりました。また営業利益は、1億24百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

（その他の事業）

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と店舗を中心にペット用品の販売を行うペット事業を合わせた、その他の事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、3億70百万円（前年同期比7.4%減）となりました。また営業損失は、42百万円（前年同期は23百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて31億92百万円増加し、936億34百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12億31百万円増加し、457億13百万円となりました。これは、未収入金が13億44百万円減少した一方で、商品及び製品が11億88百万円、その他が7億32百万円、受取手形及び売掛金が4億53百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。また、固定資産は、無形固定資産が1億40百万円減少した一方で、有形固定資産が14億5百万円、投資その他の資産が6億95百万円それぞれ増加したことにより前連結会計年度末に比べ19億61百万円増加し、479億20百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ17億20百万円増加し、429億64百万円となりました。これは、為替予約が12億93百万円減少した一方で、短期借入金が35億41百万円増加したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ6億32百万円増加し、83億85百万円となりました。これは、社債が3億50百万円減少した一方で、その他が10億78百万円増加したことが主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億39百万円増加し、422億83百万円となりました。これは、利益剰余金が4億81百万円減少した一方で、繰延ヘッジ損益が8億59百万円、その他有価証券評価差額金が4億21百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。この結果、自己資本比率は45.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社の連結業績予想につきましては、平成24年2月9日に発表いたしました当期（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の予想数値から現時点で変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,500	7,706
受取手形及び売掛金	6,589	7,043
有価証券	31	6
商品及び製品	17,022	18,211
原材料及び貯蔵品	118	126
未収入金	8,802	7,457
その他	4,696	5,428
貸倒引当金	△278	△266
流動資産合計	44,482	45,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,513	13,518
土地	10,880	11,944
その他（純額）	2,056	2,392
有形固定資産合計	26,449	27,855
無形固定資産		
のれん	2,429	2,391
その他	4,506	4,404
無形固定資産合計	6,935	6,795
投資その他の資産		
投資有価証券	5,996	6,396
その他	6,921	7,218
貸倒引当金	△343	△345
投資その他の資産合計	12,574	13,269
固定資産合計	45,959	47,920
資産合計	90,441	93,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,282	9,298
短期借入金	3,843	7,384
1年内償還予定の社債	736	736
ファクタリング未払金	13,710	14,172
未払法人税等	146	43
役員賞与引当金	31	—
販売促進引当金	613	605
為替予約	1,941	647
その他	10,939	10,076
流動負債合計	41,244	42,964
固定負債		
社債	2,550	2,200
長期借入金	3,971	3,900
退職給付引当金	31	33
資産除去債務	364	338
その他	834	1,913
固定負債合計	7,753	8,385
負債合計	48,997	51,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,359	20,359
資本剰余金	21,038	21,038
利益剰余金	12,288	11,806
自己株式	△2,775	△2,775
株主資本合計	50,910	50,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,008	△587
繰延ヘッジ損益	△1,237	△378
土地再評価差額金	△7,041	△7,041
為替換算調整勘定	△177	△136
その他の包括利益累計額合計	△9,465	△8,144
純資産合計	41,444	42,283
負債純資産合計	90,441	93,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	31,776	34,062
売上原価	16,467	18,137
売上総利益	15,308	15,925
販売費及び一般管理費	14,594	16,666
営業利益又は営業損失 (△)	714	△741
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	1	1
複合金融商品評価益	27	189
為替差益	169	318
その他	98	103
営業外収益合計	308	627
営業外費用		
支払利息	59	56
復興支援費用	64	—
その他	17	45
営業外費用合計	141	101
経常利益又は経常損失 (△)	881	△216
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	137	22
特別利益合計	137	23
特別損失		
固定資産除売却損	16	18
貸倒引当金繰入額	181	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—
災害による損失	12	—
その他	12	—
特別損失合計	335	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	683	△211
法人税等	8	△32
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	675	△178
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	675	△178

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	675	△178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178	421
繰延ヘッジ損益	686	859
為替換算調整勘定	10	32
持分法適用会社に対する持分相当額	10	8
その他の包括利益合計	529	1,320
四半期包括利益	1,204	1,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,204	1,142
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	通信販売 事業	ブライ ダル 事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,693	1,398	1,284	31,376	399	31,776	—	31,776
セグメント間の内部売上 高又は振替高	336	—	76	413	24	438	(438)	—
計	29,029	1,398	1,361	31,790	424	32,214	(438)	31,776
セグメント利益又は 損失(△)	813	△203	126	736	△23	712	1	714

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、ペット事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間における、重要な発生及び変動はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	通信販売 事業	ブライ ダル 事業	法人事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,952	1,964	775	33,691	370	34,062	—	34,062
セグメント間の内部売上 高又は振替高	133	—	16	150	21	172	(172)	—
計	31,085	1,964	792	33,842	392	34,234	(172)	34,062
セグメント利益又は 損失(△)	△751	△71	124	△699	△42	△741	0	△741

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行・クレジットなどを主とするサービス事業、ペット事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間における、重要な発生及び変動はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。